

# 年頭の ごあいさつ



幸田町長 <sup>なる</sup>成瀬 <sup>あつし</sup>敦

新年明けましておめでとうございます。  
町民の皆さまにおかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

全世界に多大なる影響を及ぼし、世界的大流行となった新型コロナウイルス感染症ですが、5類感染症へ移行し、私たちの生活も日常を取り戻し始めてきました。しかし、コロナ禍によって停滞していた世界各国の経済活動が再び動き出し、それにより世界的にエネルギーの需要が高まっていることに加え、ロシアによるウクライナ侵攻や中東地域の紛争の影響から、燃料・資源価格の高騰に拍車がかかり、物価上昇が続いています。また、近年の気候変動による異常な暑さや増加する豪雨災害など、私たちの生活に大きく影響を及ぼしている状況が続いています。このような厳しい生活環境の中、また、これまでとは違う暮らしへの移り変わりに対しましては、町民の皆さまと共に力を合わせ乗り越えていくことが大切であり、この経験は、きっと未来を拓く力になると考えています。

令和6年度は、昭和29年8月1日に幸田町と豊坂村が合併してから70周年を迎える年となります。これは積み重ねてきた歴史の成果であり、同時に「人と自然と産業の調和」を継承するとともに、この町で培ってきた人々の想いをつなぎとめて、未来に向けて挑戦、成長する契機でもあります。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響から、さまざまな制約を余儀なくされる生活が続きました。ポストコロナ時代に、未来を見据えて町民の皆さまと共に合併70周年を祝い、町内外への魅力発信をすることで、さらなる町の活性化につながるよう、記念事業を実施していききたいと考えています。

また、「備える」といったテーマを掲げて事業を進めてきました。①災害への備え ②少子化への備え ③高齢化への備え ④人口減少への備え ⑤ニューノーマル／新しい生き方、新しい働き方への備え ⑥生活安定への備えを、引き続き念頭に置く中で、さらなる輝かしい町にすべく、第6次総合計画の将来像である「みんなでつくる元気な幸田」の実現に向けた取り組みを進めていききたいと思っています。

新しい年を迎えるにあたりましては、一人一人の個性が発揮される住み心地の良い社会を目指して取り組んでまいります。そのために「町村合併70周年記念事業」を始めとした、「防災・減災・

安全安心な基盤づくり」「都市基盤づくり」「子育て・教育支援」「医療・健康・福祉・介護の体制整備」「産業振興・働き方改革」「新産業の立地支援」「商工・アニメツーリズム・観光事業の推進」「文化・スポーツの推進・居場所づくり」「環境保全と持続可能な開発」「DX推進・財政健全化・人材育成」の施策を積極的に進めていききたいと考えています。

将来展望が開ける輝かしい町をつくるためには、町民の皆さまの力をいただくことが重要でありますので、今まで以上に町政への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年も町民の皆さまのご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。

